

ほぼ紙トイレとSDG s



株式会社スマイル・ブラザーズ・ジャパン



SDG s とは

2030年までに
持続可能でよりよい世界を目指すために
17のゴール(目標) と 169のターゲット(達成準)から
構成される国際目標



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ほぼ紙トイレの ゴールとターゲット

6 安全な水とトイレ
を世界中に



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



15 陸の豊かさも
守ろう



ゴール 6

全ての人々の
水と衛生の利用可能性と
持続可能な管理を確保する

ターゲット6.2

2030年までに、
すべての人々の、
適切かつ平等な下水施設・衛生施設へのアクセスを達成し、
野外での排泄をなくす。
女性及び女児、ならびに脆弱な立場にある人々のニーズに
特に注意を払う。

6 安全な水とトイレ
を世界中に



- ◆ほぼ紙トイレは、
ライフライン(水道・下水道・電気等)の無い環境で
使用できるので、災害時はもちろん、野外での排泄
をなくすために役立ちます。
- ◆ほぼ紙トイレは、
衛生面、防犯面も考慮されているので安心して
使用できます。
特に女性や子供に優しいトイレです。

ゴール 11

包括的で安全
かつ強靱で持続可能な都市
及び人間居住を実現する

11 住み続けられる
まちづくりを



ターゲット11.5

2030年までに、
貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、
水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、
世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

ターゲット11. b

2020年までに、
包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、
災害に対する強靱さ（レジリエンス）を目指す総合的政策
及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を
大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、
あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。

- ◆トイレ回避による二次災害を無くするため
災害時に適応する安心・安全なトイレを製造して
います。
- ◆災害用トイレ備蓄の重要性の啓発に努めています。
- ◆災害に対するレジリエント
→ほぼ紙トイレは、ライフライン(水道・下水道・電気
等) 不要で使用できます。

ゴール 12

持続可能な生産消費形態を
確保する

12 つくる責任
つかう責任



ターゲット12.5

2030年までに、
廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、
廃棄物の発生を大幅に削減する。

◆廃棄物の発生軽減

→ほぼ紙トイレは、し尿を400ℓというタンクに一括
貯留することで廃棄物の軽減につながります。
(使用済便袋のように数量が発生しません。)

→ほぼ紙トイレは、焼却処分できるので
不燃廃棄物の軽減につながります。

→ほぼ紙トイレで使用しているバクテリア製剤により
し尿が水と二酸化炭素になるので堆肥として
再利用することができます。(私有地所有者許可)

ゴール 15

陸域生態系の保護、回復、
持続可能な利用の推進、
持続可能な森林の経営、
砂漠化への対処、ならびに

土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を
阻止する

15 陸の豊かさも
守ろう



ターゲット15.1

2020年までに、国際協定の下での義務に則って、
森林、湿地、山地及び乾燥地をはじめとする陸域生態系と
内陸淡水生態系及びそれらのサービスの保全、回復及び
持続可能な利用を確保する。

◆ほぼ紙トイレは、再生紙を使用しています。